

1 インター周辺開発のこれまでの経過

2015年度(平成27年度)

- ・(株)長工より、須坂長野東インターチェンジ周辺に大型商業施設開発について、市、商工会議所、市議会などに提案説明される。
- ・須坂市では、市民参加による「須坂市大型商業施設計画に係る協議会」や、意見募集などによる検討を行い、12月議会において、市として大型商業施設建設を支援していくことを表明。

2016年度(平成28年度)

- ・インター周辺開発について、市で以前より計画していた「新産業団地」と、「流通団地」、「大型商業施設」を合わせ、全体で約34.7haを開発エリアとして進めることを表明。(5月議会へ説明)

2017年度(平成29年度)

- ・経済産業省が所管する地域未来投資促進法が施行され、この法律による支援措置を活用してインター周辺開発を進めることとする。
- ・地域未来投資促進法で進めるにあたり、開発予定区域を一部拡大し、開発予定面積を約46haとする。(権五郎川西側を拡大)
- ・須坂市基本計画で観光集客施設と物流関連産業施設として開発を進めることとし、12月22日、地域未来投資促進法による「須坂市地域基本計画」が国の同意を得る。
- ・3月地権者説明会を開催し、意向調査を実施。(①②③)
(意向調査結果 条件付を含め協力できる方 95% 協力できない方 1.2%)

2018年度(平成30年度)

- ・高速道路東側の区域を物流関連産業からものづくり産業へ変更し、その北側の区域の拡張に向けて、地権者の意向調査を実施。(④)(意向調査結果 条件付を含め協力できる方 77% 協力できない方 16%)
- ・2月12日、高速道路の西側①②地区について、地域未来投資促進法による土地利用調整計画が県の同意を得る。